

一般会計予算 244 億 9,600 万円を可決



令和 2 年度の新規事業

新

先進技術導入事業 事業費 707 万円



経由で音声認識データに変換、編集することにより会議録を作成する会議録作成支援システムの導入、ソフトウェアの活用により定型業務を自動化する RPA の導入、紙文書をスキャナーで読み込み、書かれている文字を認識してデジタル化する AI-OCR の導入など、先進技術を積極的に導入することにより、業務時間の削減による人件費コストの削減や、働き方改革・行財政改革を進めていく。

新

産地パワーアップ事業 事業費 6,000 万円



農作物の効率的・高収益な生産出荷体制を実現するため、生産者が高収益な作物の生産・栽培体制への転換を図る際に、県補助金を活用し必要な生産資材の導入・施設整備に対する補助を行う。

農業用ハウス等の生産基盤を次世代に円滑に引き継ぐための再整備・改修や新規就農者等への継承を支援していく。

令和2年度のお金の使い道 当初予算

対前年度比 5.7%増

2月27日に、市長から令和2年度案が提出されました。議会では、予算特別委員会（村田春樹委員長）を設置して予算の審議を、3月9日、10日の2日間にわたって行いました。その結果、全ての予算案を市長の提案どおり賛成多数により可決しました。今回決定した令和2年度のお金の使い方（予算）と主な事業についてお知らせします。

令和2年度会計別予算

会計別	令和2年度	令和元年度	増減率		
一般会計	244億9,600	231億6,500	5.7		
特別会計	国民健康保険（事業）	51億6,171	53億0,076	△2.6	
	国民健康保険（直診）	1億2,228	1億3,242	△7.7	
	後期高齢者医療保険	5億8,423	5億3,021	10.2	
	下水道	-	16億9,653	皆減	
	農業集落排水	3億0,120	2億9,628	1.7	
	戸別浄化槽	3,543	3,291	7.7	
	霊園	1,558	2,495	△37.6	
	介護保険（事業）	39億6,700	38億0,743	4.2	
	介護保険（サービス）	625	645	△3.1	
	小計	346億8,968	349億9,294	△0.9	
企業会計	水道	収益的収入	8億4,665	8億4,727	△0.1
		収益的支出	8億1,161	8億2,229	△1.3
	資本的	収入	5億5,669	6億4,462	△13.6
		支出	9億5,932	10億7,841	△11.0
	下水道	収益的収入	11億8,446	-	皆増
		収益的支出	11億3,508	-	皆増
	資本的	収入	7億762	-	皆増
		支出	11億2,004	-	皆増
	小計	収入	32億9,542	14億9,190	120.9
		支出	40億2,605	19億0,070	111.8
歳入（収入）計	379億8,510	364億8,484	4.1		
歳出（支出）計	387億1,573	368億9,364	4.9		

（単位：万円・％）

主な事業

（継続）

- ふるさと寄附金事業
【事業費：5,496万3千円】

（継続）

- 小学校建設事業
【事業費：17億9,675万5千円】

（継続）

- 医療福祉扶助事業
【事業費：3億4,038万3千円】

（継続）

- JR羽鳥駅及び駅前広場整備事業
【事業費：2億8,829万5千円】

（継続）

- 障害者地域生活支援事業
【事業費：6,738万3千円】

